

優れた環境保全活動の表彰

【信州エコ大賞】

長野県内で地球環境保全に力を尽くしている団体や個人に、協会が毎年お贈りしている環境グランプリ、「信州エコ大賞」と「奨励賞」の表彰式が、10月に開かれる通常総会の席上で行われます。

当協会の7支部からの推薦を受けた候補先を、信州エコ大賞審査委員で慎重審査を行われ、企画委員会、理事会で承認されて表彰されるものです。

信州エコ大賞の受賞者先

回数	年度	エコ大賞	奨励賞
1	1 1	株式会社みすず株コーポレーション（長野市） 株式会社ナガノトマト松本工場（松本市） リサイクルシステム研究会（伊那・飯田地区） 茅野市（茅野市）	該当なし
2	1 2	にっぽんこどもじゃんぐる（須坂市） 岡谷市立長地小学校（岡谷市） 飯田市地域における地域ぐるみ環境ISO研究会（飯田市） 岡正子（長野市）	若槻団地自治会（長野市） 小沢花の会（伊那市） 蝦名国廣（松本市）
3	1 3	上田自然探訪の会（上田市） 諏訪湖シャボン普及会（諏訪市） 株式会社竹屋（諏訪市）	中部電力株式会社飯田支店天竜協働隊（飯田市） 山口文男（長野市）
4	1 4	三峰川みらい会議（伊那市）	スハマ会（長野市） 上田市消費者の会（上田市） 株式会社中島屋降旗米穀（松本市） 長野県立富士見高校（富士見町）
5	1 5	諏訪地域「省エネパトロール隊」（諏訪市）	市橋恵美（飯田市） 上田市立保育園21園（上田市） 山富産業株式会社（松本市） 山ノ内グリーンフィールドネットワーク活動（山ノ内町）
6	1 6	日置電機株式会社（上田市）	グリーンクラブいいだ（飯田市） ハッチョウトンボを育む会（駒ヶ根市） 株式会社ヤマウラ（駒ヶ根市）
7	1 7	該当なし	NPO法人地域循環ネットワーク・有限会社に ゆうとん倶楽部（上田市） 信州グリナリー株式会社（長野市） 松本市立筑摩野中学校（松本市）
8	1 8	オムロン飯田株式会社（飯田市） 特定非営利活動団体南アルプス研究会（伊那市）	松本南ロータリークラブ（松本市） しがっ子クラブ（諏訪市） 箕輪町立箕輪中部小学校 環境・省エネ委員会（箕輪町）
9	1 9	該当なし	巴産業株式会社（大町市） 松本市立清水小学校（松本市） 諏訪市消費者の会（諏訪市）

			南信工営株式会社（伊那市）
1 0	2 0	株式会社星野リゾート（軽井沢町） 伊那食品工業株式会社（伊那市）	長野ホテルの会（長野市） 小柳産業株式会社（上田市） 諏訪市立上諏訪中学校（諏訪市）
1 1	2 1	エプソントヨコム株式会社伊那事業所（箕輪町）	有限会社武井農場（安曇野市） ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社 （駒ヶ根市）
1 2	2 2	該当なし	特定非営利活動法人べとの会（長野市） 特定非営利活動法人森倶楽部 21（松本市） 駒ヶ根市立赤穂東小学校（駒ヶ根市）
1 3	2 3	株式会社日本ピスコ伊那第二工場（岡谷市）	協同組合長野県中古自動車リサイクルセンター （東御市） ひかり味噌株式会社飯島グリーン工場（飯島町） 米川会（飯田市）
1 4	2 4	特定非営利活動法人やまぼうし自然学校（上田市）	市民の森を創る会（茅野市） 寿さと山くらぶ（松本市）
1 5	2 5	NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師 （飯田市）	上田自然に親しむ会（上田市） 松本市消費者の会波田地区（松本市）
1 6	2 6	該当なし	新山山野草等保護育成会（伊那市） 葦木美咲（茅野市） 大町市立八坂中学校生徒会（大町市） 桐原俊郎（松本市）

回数	年度	特別賞	
1 0	2 0	社団法人長野県経営者協会（長野市）	

平成26年度の受賞先は次の通りです。

◇第16回 信州エコ大賞

▽該当なし

◇奨励賞

▽新山山野草等保護育成会（会長 中山徹夫）

地域住民が中心となって土砂採取の跡地約2.5haを整備し、希少種であるハッチョウトンボをはじめとする主として湿地帯に生息する生物多様性維持の環境を保全し、子どもたちの環境教育のフィールドとしても活用している。また周辺裸地への植樹を継続するなど自然修復にも貢献していることが評価されました。

▽葦木美咲（シンガーソングライター）

太陽光発電による自然エネルギー電気を使用して環境をテーマとしたコンサート（光合成ライブ）を全国各地で開催し、環境保全の啓発活動に貢献している。音楽活動を通じた環境保全という新しい切り口を提示している点と10年間にわたる継続的な活動が評価されました。

▽大町市立八坂中学校生徒会（生徒会長 野高丈太郎）

山村留学生を含めて全校生徒数 31 人の小規模中学校の生徒会にも関わらず、30 年間にわたり地域内幹線道路約 8 km のガードレールおよびその関連（下草刈り、ゴミ拾い等）の清掃活動を、地域の行政・企業・住民と連携して継続し、環境美化運動を地域に根付かせていることが評価されました。

▽桐原俊郎

水道の凍結防止帯の不適切な使用による電気の無駄遣いについて、科学的な調査・分析を行い、その結果を地域での啓発活動や現地での取り扱い指導の実施などに活かしている。地域の消費者団体、大学、企業とも協働して凍結防止帯の適切な使用による節電活動を継続していることが評価されました。



【平成 26 年度奨励賞】

新山山野草等保護育成会
ハッチョウトンボ生息地

【平成 26 年度奨励賞】

葦木美咲
木曾でのライブと光合成機器

【平成 26 年度奨励賞】

大町市立八坂中学校生徒会
ガードレールと周辺の清掃活動

凍結防止帯節電器



【平成 26 年度奨励賞】

桐原俊郎



お喜びの受賞者の皆様